

2010年5月10日(月)

高い評価を得ているスズキ・メソードの子どもたちによる演奏ツアー ～スズキチルドレンコンサート 2010

今年は、5/15 福井、5/16 金沢、5/23 東京で連続開催

スズキ・メソードを推進する(社)才能教育研究会では、2007年から実施している「スズキチルドレンコンサート」を今年も開催します。

2007年 名古屋、松本、東京

2008年 沖縄

2009年 大分、福岡、名古屋、神戸

これまでの演奏では、いずれもヴァイオリン、ピアノ、チェロ、フルートを学ぶ子どもたちによるアンサンブルや斉奏が、高い評価を得てきました。

今年は北陸地区と東京でのコンサートです。日頃の練習の成果とともに、今のスズキチルドレンたちの演奏を知る絶好の機会となるでしょう。

2010年 福井、金沢、東京

詳しくは、チラシをご覧ください。



精緻なアンサンブルを暗譜で披露 (2009年)



シカゴのシビック・シンフォニーと共演 (1973年)



NYのカーネギーホールにも出演 (1984年)

〈ミニ知識〉

かつて1964年～1994年まで、30年間にわたり行なわれ、スズキ・メソードの海外への普及発展に貢献したコンサートがありました。それが海外演奏旅行で、通称「10チルドレン^{デン}コンサート」と呼ばれていました。

30年間の足跡は、アメリカ、カナダ、メキシコ、ペルー、イギリス、アイルランド、フランス、スペイン、ベルギー、ルクセンブルグ、ポーランド、スウェーデン、中国、マレーシア、フィリピン、オーストラリア、ニュージーランドなど20カ国384都市483回のコンサートとして実績を残しました。特にアメリカでは、「スズキ・インパクト (スズキの衝撃)」として音楽指導者たちの間に大きな影響を与え、スズキ・メソードが海外で大きく飛躍するきっかけとなりました。

スズキ・メソッドは

鈴木鎮一が創始した、幼児からの音楽教育法として国内はもとより広く世界に普及しています。ヴァイオリン、ピアノ、チェロ、フルートなどの楽器を通して、高い感性と美しい心を育み、集中力を養うという、音楽教育の域を超えた人間教育として注目を集めています。この教育法は「母語教育法」とも言われるように、すべての子どもが自由自在に言葉話していることに着目しています。母親が子どもに言葉を語りかけるときの繰り返しと愛情を重視し、「どの子も育つ、育て方ひとつ」「人は環境の子なり」という理念に基づいて、研究を続けています。

現在、国内においては2～3歳から大人にいたるまでの約2万人が約1,000人の先生とともに、また海外では世界46カ国、とくに米国では30万人にのぼる子どもたちが、スズキ・メソッドで学んでいます。

東京の日本武道館で行なわれるグランドコンサートは、すでに50回を越え、海外からの参加も含めて毎回3,000人以上が感動的な演奏を繰り広げます。その模様は各国のマスメディアにも多く取り上げられ、またインターネットを通じて世界中に配信されました。

スズキチルドレンコンサート 2010 に関する連絡窓口

慧 才能教育研究会

東京事務所 03-3295-0270 (担当：和田)
tokyo@suzukimethod.or.jp